

安達太良山の火山活動解説資料（平成24年2月）

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成21年3月31日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図2～3）

若宮（沼ノ平火口の西北西約8km）に設置してある遠望カメラでは、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図4）

火山性地震は少ない状況が続いています。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図5～6）

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

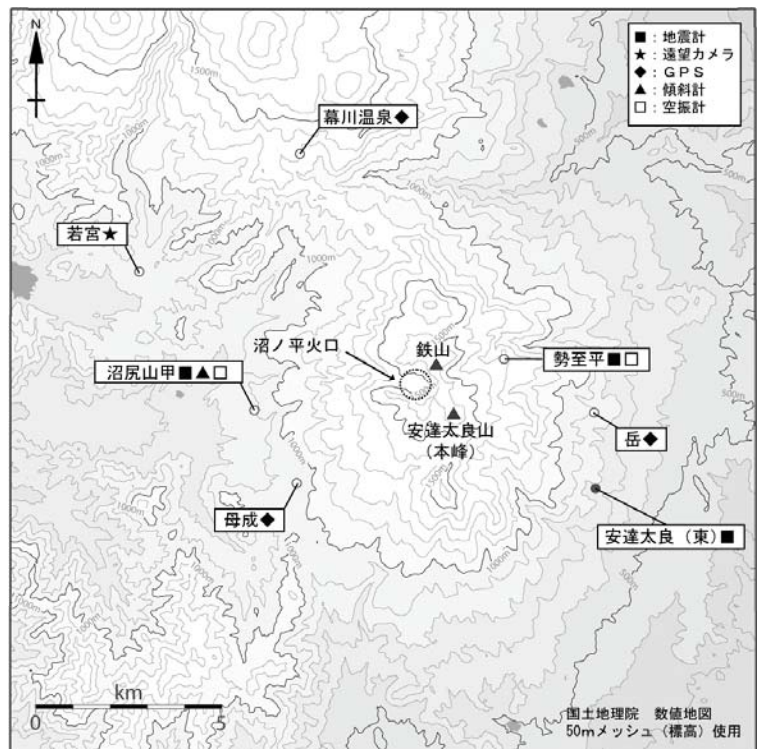


図1 安達太良山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成24年3月分）は平成24年4月9日に発表する予定です。

※この記号の資料は、気象庁のデータの他、国土地理院のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

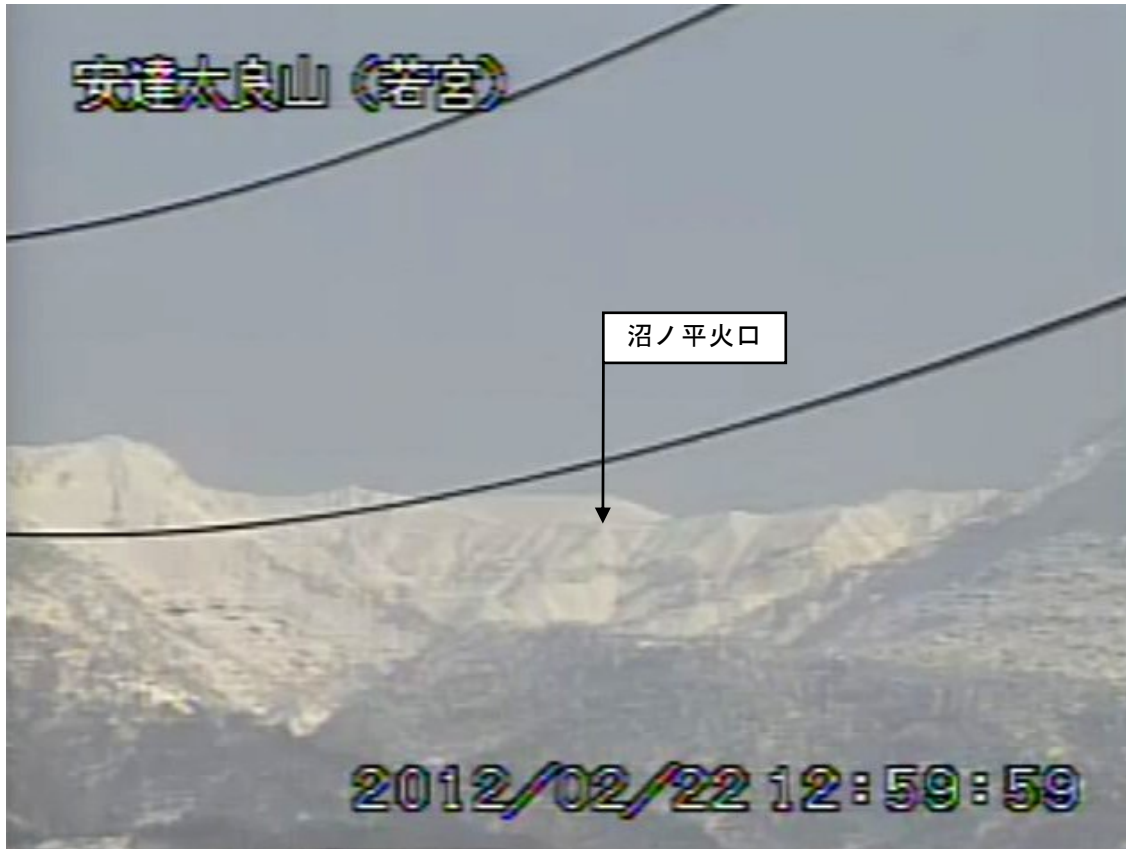


図2 安達太良山 沼ノ平火口周辺の映像（2月22日13時00分頃）
若宮（沼ノ平火口の西北西約8km）に設置してある遠望カメラによる。

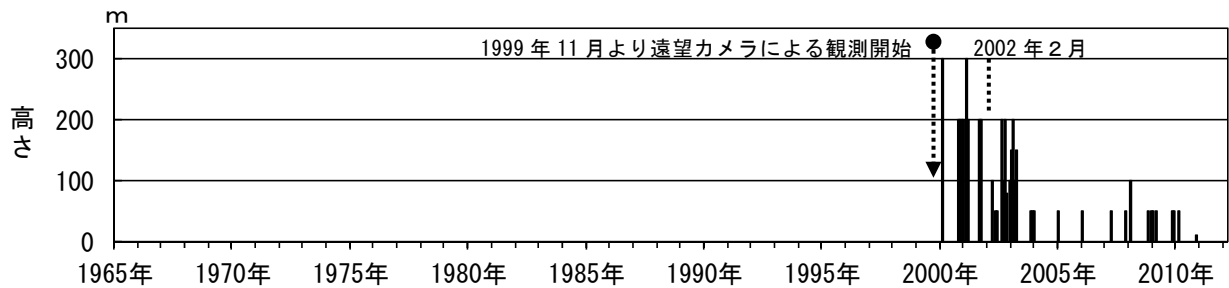


図3 安達太良山（沼ノ平火口）月別最大噴気高（1999年11月～2012年2月）
2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さです。
2002年2月以降は全ての時間で観測したデータによる高さです。

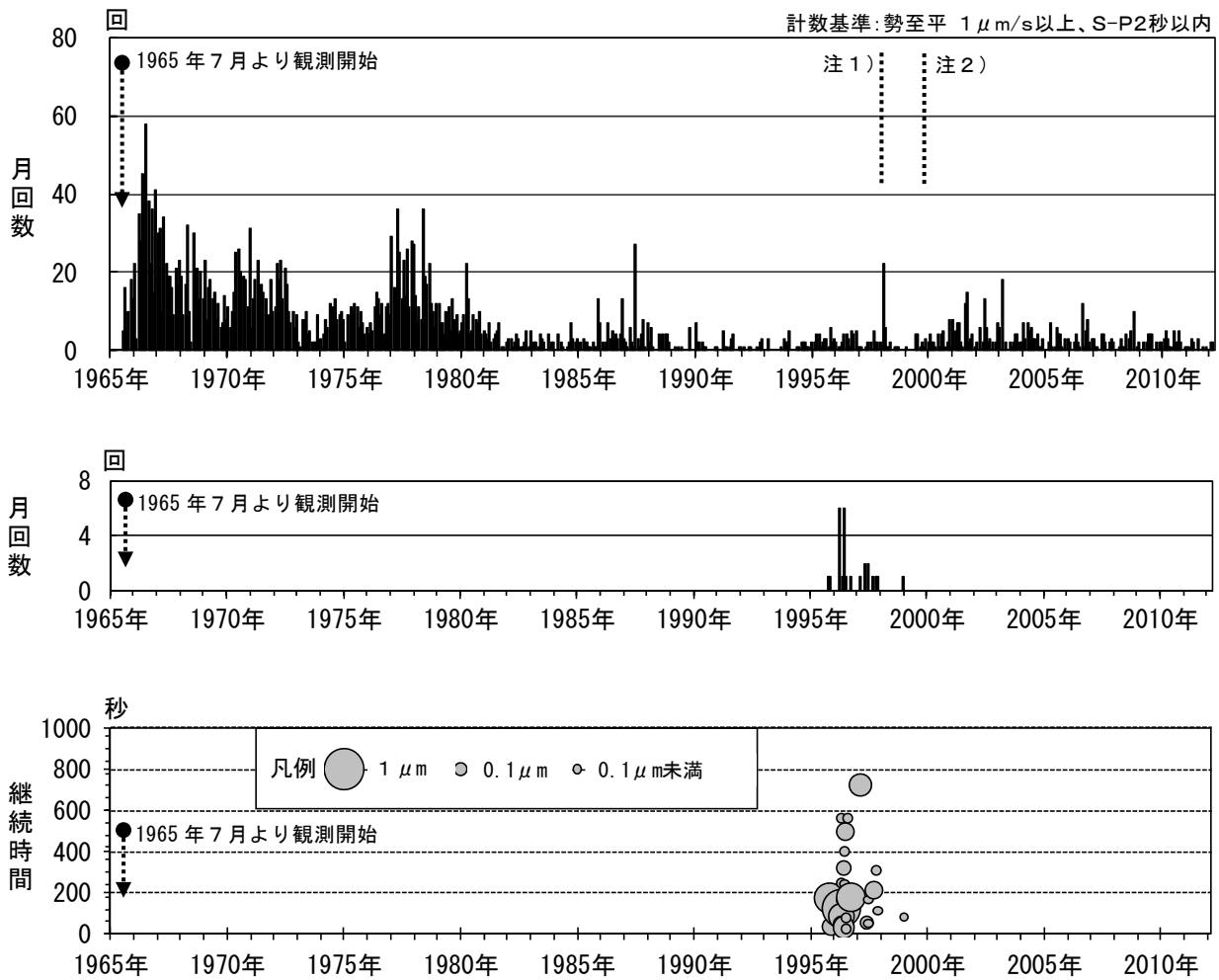


図4 安達太良山 上段：月別地震回数（1965年7月～2012年2月）
 中段：月別微動回数（1965年7月～2012年2月）
 下段：微動の継続時間と上下動最大振幅（1965年7月～2012年2月）^{注3)}

注1) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。
 注2) 1999年10月に勢至平観測点を新設し、基準観測点を塩沢観測点（沼ノ平火口から東北東約6km）から勢至平観測点（沼ノ平火口から東北東約3km）に変更しました。
 注3) 塩沢観測点による。

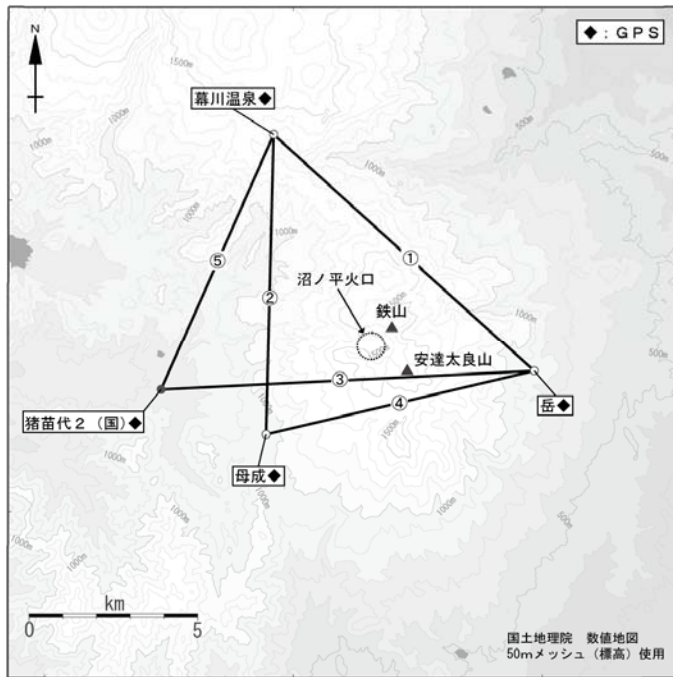


図5 安達太良山 GPS 観測点配置図
 小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。(国)：国土地理院

GPS 基線①～⑤は図6の①～⑤に対応しています。

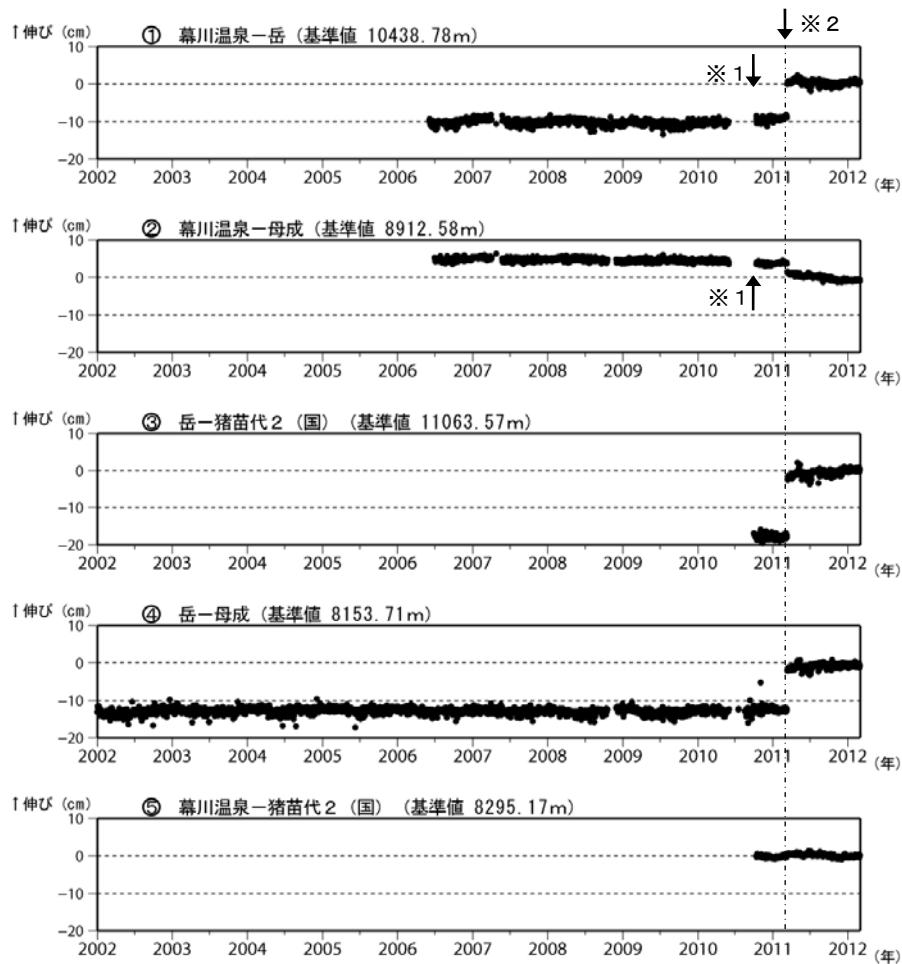


図6※ 安達太良山 GPS 基線長変化図 (2002 年 1 月～2012 年 2 月)
 2010 年 10 月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。

①～⑤は図5のGPS基線①～⑤に対応しています。

グラフの空白部分は欠測を表しています。

※1：幕川温泉観測点の機器更新

※2：2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響による